



宇久中だより2017

佐世保市立宇久中学校 学校通信
(平成29年7月2号)
文責 校長 田雑 健
平成29年7月11日(火)発行

学校教育目標 : ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像 : 素直で心豊かな生徒 ・ 自ら考え、主体的に学ぶ生徒 ・ 強くたくましい生徒
宇久中学生の5励行 : 心のこもったあいさつをする 授業に集中する 生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う 清掃活動に力を入れる

やれましたか？



定期テストも終了しました。いよいよ野外宿泊活動、職場体験学習が明日からスタートするところです。様々な体験に向けて「さあ、がんばるぞ」と思っているところでしょうが、おっと、その前にテストの振り返りはできたでしょうか。

前にも述べたように、日々の学習の積み重ねが確実に実行できているかを確認するのが定期テストの目的です。授業に集中する、家庭学習で予習・復習をきちんと行う、そういった日頃の学習パターンが身に付いているかどうかを振り返りましょう。

中学生の時期は「教科学習を通して『学び方』を学びとる」ことが肝心です。自分にはどんな学習パターンが適しているのか考える機会としてください。

中学生の時期は「教科学習を通して『学び方』を学びとる」ことが肝心です。自分にはどんな学習パターンが適しているのか考える機会としてください。

一丈の堀を越えんと思はん人は
一丈五尺を超えんと励むべきなり
法然

人権標語を紹介します (その5)

今回は1作品のみ

『勇氣だ！ 伝えようあなたの 心の叫び』

体験を通して学ぶ



明日から2・3年生は、島内各事業所の方々のご理解とご協力を得て、「職場体験学習」が始まります。まずは、基本である「あいさつ(返事)・掃除(整理整頓)」から積極的に取り組んでいきましょう。事業所の方の指示をよく聴くとともに「分からないことや理解できていないこと」はハッキリと伝え、いい加減な取組とならないように心がけ、自分に与えられた仕事は責任を持って果たしてください。

1年生は野外宿泊活動です。8人力を合わせて、有意義な3日間となるよう、お互いにしっかりとコミュニケーションを図り、相手のことを考えながら、行動するように心がけましょう。

登下校の際に注意を！

ここ数日の雨で地盤が緩んでいる所があるかもしれません。崖下などには絶対に近づかないように。また、河川の増水にも注意が必要です。自分の命は自分で守ることができるように、危険を察知する意識・感覚をさらに高めて、安全第一に過ごしましょう。

何か登下校の際に気づいたことがあったら、すぐ先生方に知らせてください。

言葉のちから

15日（土）に「**市少年の主張大会**」が開催されます。本校からは3年生の畠あゆみさんが「真剣に生きる」という演題で発表します。

続いて16日（日）には「**社会を明るくする運動中学・高校生弁論大会**」が開催され、本校からは3年生の宮崎優香さんが「愛される命」という演題で発表します。

弁論発表はご承知のとおり、今日準備して明日できるといった類のものではありません。日々の学習や行事への取組、そして部活動などで忙しく過ごしている中で、時間を確保して原稿を書き、推敲を重ね、やっと発表原稿ができあがる。今度はそれを自分の言葉として話すことができるように繰り返し練習する。そういった努力の成果が両大会で示されます。ご多用な中とは思いますが、機会があればぜひご参観ください。

【市少年の主張大会】

場 所：コミュニティセンター（光月町）

開 会：12：00（弁論発表は12：15～）

発表順：20番目（28人発表のうち）

【社会を明るくする運動中学・高校生弁論大会】

場 所：アルカスSASEBO

開 会：10：20

発表順：4番目（午前の部18名発表のうち）

7月19日は 地区懇談会・学級懇談会

保護者の皆様にはすでにご案内を差し上げておりますが、来週19日（水）14：45から本校図書室にて地区懇談会（「メディア講習会」を含む）及び学級懇談会を開催いたします。

夏季休業前ということもあり、親子でメディアの正しい使い方について学んでいただく機会として、講師をお招きしての講習会も内容に含んでおります。ご多用とは存じますが、学校に足を運んでいただければ幸いです。

コミュニケーション

中学校に限らず、小学校、高校でも共通して「コミュニケーション能力の育成」に力を入れているところです。

学校にしても職場にしても、コミュニケーションは大切なもの。相手が思っていることを理解する。自分の考えを相手に伝える。そのためにはコミュニケーション能力は不可欠です。

ただ、「コミュニケーションをとる」というと、話をする、報告を上げる、連絡をとるといったことだけで終わりと思いかちです。

しかし、そこで終わってしまえば、それはコミュニケーションではなく、単なるカンバセーション（会話）でしかありません。自分の意思や考えを相手に伝え、理解してもらおう。同時に相手の言いたいこと、考えていることを理解すること。ちゃんと目的意識を持ち、お互いに真意を伝え、そのうえで何らかの結論を必ず出す。それがコミュニケーションなのです。

・・・と、コミュニケーション論の大家のようなことを書き連ねましたが、実はこの話は松本 大（まつもと おおき）さんという方の本からの引用です。（「私の仕事術」松本 大 講談社）

松本さんは米国の証券会社に勤務し、役員に昇進後、退社して日本で証券会社を設立した方です。広く世界のビジネス最前線で活躍されている方のコミュニケーション論を一部紹介した次第です。

普段の会話の積み重ね、報告・連絡・相談の重要性は無論のことですが、そこで留まらず、さらに相互理解に向けての手立てをうっていく、コミュニケーションの奥深さを感じさせる話です。

